

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	220	2年	前期	看護学科	必修	小児保健 Child Health	30	1
担当教員								
豊田 ゆかり	藤原 紀世子	石川 桂						
関連するDPキーワード（看護学科）								
<input type="checkbox"/>	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
<input type="radio"/>	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
<input type="checkbox"/>	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
小児看護を実践するために重要な小児の成長・発達を理解し、対象に応じたかかわりを考える。子どもに起こりやすい事故について、成長・発達の視点から捉え、事故防止について考えることができる。健康な子どもとかわることで、成長・発達に応じた関わり方について実践から学び、子育て支援、看護の役割について考えることができる。								
到達目標（授業目標）								
①小児の成長・発達の特徴が理解できる。成長・発達の変化に伴う子どもへの関わり方について考えることができる。								
②成長・発達の変化に伴う起こりやすい事故及びその予防について考えることができる。								
③支援の必要な成長・発達に課題のある子どもについて理解でき、その関わり方を考えることができる。								
④フィールドワークの実践を通じて、子どもの成長・発達の特徴に応じた関わり方の理解を深め、子どもの関わり方、注意することを身につける。								
⑤カンファレンスにおいて、自分の考えを述べグループ中で意見交換をすることができる								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
回								
1回	小児の特徴：子どもと関わるときに重要な成長・発達の理解（豊田ゆかり）							
2回	小児の事故防止：子どもと関わるときに重要な成長・発達の特徴から考える事故防止（豊田ゆかり）							
3回	小児への関わり方：成長・発達と共に変化する子どもへの関わり方 言動が意味することを考える（豊田ゆかり）							
4回	小児への支援：健康レベル・発達に応じたかかわりが重要な視点（豊田ゆかり）							

5回	小児の成長・発達と家族の生活を支える社会資源：医療的ケア児や障害児の在宅生活を支える社会資源について（豊田ゆかり）								
6回	フィールドワーク オリエンテーション（豊田ゆかり 藤原紀世子 石川桂）								
7回	フィールドワーク:子どもの発達と子どもの行動の意味の理解（ビデオ学習・個人ワーク）（豊田ゆかり 藤原紀世子 石川桂）								
8回	フィールドワーク:幼稚園・保育園での子どもとのかかわりとカンファレンス（1）（豊田ゆかり 藤原紀世子 石川桂）								
9回	フィールドワーク:幼稚園・保育園での子どもとのかかわりとカンファレンス（2）（豊田ゆかり 藤原紀世子 石川桂）								
10回	フィールドワーク:幼稚園・保育園での子どもとのかかわりとカンファレンス（3）（豊田ゆかり 藤原紀世子 石川桂）								
11回	フィールドワーク:幼稚園・保育園での子どもとのかかわりとカンファレンス（4）（豊田ゆかり 藤原紀世子 石川桂）								
12回	フィールドワーク:幼稚園・保育園での子どもとのかかわりとカンファレンス（5）（豊田ゆかり 藤原紀世子 石川桂）								
13回	フィールドワーク:幼稚園・保育園での子どもとのかかわりとカンファレンス（6）（豊田ゆかり 藤原紀世子 石川桂）								
14回	フィールドワーク:幼稚園・保育園での子どもとのかかわりとカンファレンス（7）（豊田ゆかり 藤原紀世子 石川桂）								
15回	フィールドワーク:幼稚園・保育園での子どもとのかかわり（豊田ゆかり 藤原紀世子 石川桂）								
16回									
17回									
18回									
19回									
20回									
21回									
22回									
23回									
24回									
25回									
26回									
27回									
28回									
29回									
30回									
成績評価方法及び基準									
課題レポート（50％） フィールドワーク（50％）。トータル60点以上を合格とする。									
教科書	中野綾美：小児の発達と看護,メディカ出版								
参考図書等									
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）									
予習・復習のための課題を出します。課題内容は授業の時にお知らせします。提出期限も状況に応じて説明します。課題未提出及び期限に間に合わない場合は成績評価に影響します。小テストは授業が理解できているかの確認のために実施します。									
関連科目									
前科目	149 生涯発達心理学（共 116 基礎ゼミ								
後科目									
実務家教員									
保健師（行政機関）	豊田 ゆかり	石川 桂							
看護師（医療機関）	豊田 ゆかり	藤原 紀世子	石川 桂						
備考									